

令和5年度川崎市自動車運送事業会計決算概況

（総括事項）

市バス事業は、市民の大切な公共交通機関として重要な役割を果たしており、安全を第一の使命としつつ、お客様に満足いただける利用しやすいサービスの提供を行うとともに、経営基盤の強化に努めております。

令和5年度の収益的収支は、乗車人員が若干回復したことや、料金改定の平年度化による乗車料収入の増加等により、黒字となりました。

しかしながら、今後についても社会変容等の影響により乗車人員が新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の水準まで回復が見込めないことや、燃料価格をはじめとした物価の上昇等により、依然として厳しい事業環境が見込まれるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による減収への対応として発行した特別減収対策企業債の償還、営業所の老朽化対策、バス車両の更新、脱炭素に向けた取組等で多くの資金が必要となることから、厳しい経営状況が見込まれます。

こうした中においても、公共交通や公営バスとしての意義、役割を果たし、市民やお客様の大切な交通手段を確保するため、「川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）」に基づき、利便性の向上や運行の効率化に向けた運行計画の見直し等を推進し、持続可能な経営基盤の構築に取り組みます。

（運輸成績）

事業の根幹である乗車料収入は、乗合乗車料収入と貸切乗車料収入を合わせ76億9,458万8,764円で、前年度と比較して3億7,303万7,626円の増、乗車人員は4,387万2,674人で、前年度と比較して150万9,609人の増となりました。

（安全、安心な輸送サービスの確保）

市バスの安全管理体制を構築・改善する「運輸安全マネジメント」を推進し、輸送の安全性向上に取り組みました。

事故防止に向け、自転車の追い抜かれや、夜間走行の危険性等を体験する運転手実技研修については、電動キックボードを用いたカリキュラムを追加しました。

また、小学生や高齢者に向けた安全啓発の取組として、バス車両の機能や特性、多様な利用者への対応について学び、安全意識を高めるとともに、バリアフリーの大切さを学んでもらう交通安全・バリアフリー教室を実施しました。

（快適で利用しやすいサービスの提供）

分かりやすい案内サービスの提供として、主要駅のりば案内や市バスの路線図を掲載した「かわさき市バスマップ」を作成しました。

また、バス利用者向けサービスの充実を図るため、経路検索事業者へ市バスのリアルタイム運行情報等の提供を開始し、経路検索アプリ等で確認ができるようになりました。

(社会的要請・市行政施策との連携等に対応した事業の推進)

脱炭素に向けた取組として、CO₂排出量の少ないハイブリッドバス39両を購入しました。また、営業所における施設照明(屋内)のLED化に向けた実施設計を行いました。

市の行政施策との連携として、令和6年10月14日に交通事業80周年を迎えるに当たり、記念事業として、ロゴマークを活用した広報を行うとともに、全国都市緑化かわさきフェアとのコラボラッピングバスのお披露目式や各種イベントへの出店等のプレイベントを実施しました。

(経営基盤の強化)

営業所乗車券販売窓口について、利用実態を踏まえ、塩浜営業所及び菅生車庫の販売窓口を川崎乗車券発売所等の他の販売窓口へ、機能を集約しました。

事業基盤を支える人材について、正規職員の退職動向を踏まえた計画的な採用を実施するとともに、全国的にバス運転手が不足している状況を踏まえ、大型自動車第二種免許を保有していない若年層を対象とした運転手(養成枠)の採用選考を行いました。また、整備員の確保に向けて、受験資格を見直しました。

運転中の心臓疾患、大血管疾患、脳血管疾患等の発症を予防し、疾病の早期発見、治療につなげるため、運転手を対象とした心臓疾患・大血管疾患対策検査、脳健診及び眼科健診を実施しました。

(経営成績)

収益的収支は、事業収益97億8,081万2,236円に対して、事業費用は90億9,333万3,598円で収支差引は6億8,747万8,638円の黒字となり、消費税等を除いた収支差引では、5億5,540万9,762円の純利益となりました。この結果、令和5年度未処理欠損金は33億3,667万3,892円となりました。財源収支については、4億4,002万5,701円の資金余剰となりました。

問合せ先

川崎市交通局企画管理部経理課 本山

電話 044-200-3203

令和5年度川崎市自動車運送事業会計決算総括表

(収益的収支)

(単位：円、%)

	収 入 (税込)	支 出 (税込)	差 引 (税込)	税 抜 処 理 後 純 損 益	前 年 度 繰 越 損 益	当 年 度 未 処 理 損 益
決 算 額	9,780,812,236	9,093,333,598	687,478,638	555,409,762	△ 3,892,083,654	△ 3,336,673,892
執 行 率	101.8	94.0	-	-	-	-

(資本的収支)

(単位：円、%)

	収 入 (税込)	支 出 (税込)	差 引 (税込)	補てん財源等				再差引
				繰 越 工 事 資 金	損益勘定 留保資金	前年度財源 充 当 額	その他	
予算現額	1,697,669,000	2,501,339,000	△ 803,670,000	-	413,996,000	-	389,674,000	0
決 算 額	1,535,484,938	2,331,716,991	△ 796,232,053	-	405,829,618	-	390,402,435	0
執 行 率	90.4	93.2	-	-	-	-	-	-

令和5年度 自動車運送事業会計決算(見込)のポイント

		令和5年度決算	令和4年度決算	増△減額	増△減率	備 考
1 収益的収入		97億8,000万円	94億4,400万円	3億3,600万円	3.6%	
主な収入	乗車料収入	83億2,500万円	79億1,500万円	4億1,000万円	5.2%	乗車人員の増加及び料金改定の平年度化による増
	他会計補助金負担金	11億2,000万円	11億5,300万円	△3,300万円	△2.9%	一般会計補助金等の減
2 収益的支出		90億9,300万円	92億4,200万円	△1億4,900万円	△1.6%	
主な支出	人件費	43億5,200万円	43億9,900万円	△4,700万円	△1.1%	退職給付費等の減
	経費	39億3,500万円	38億7,500万円	6,000万円	1.5%	営業所管理委託費等の増
	減価償却費	4億5,700万円	6億1,500万円	△1億5,800万円	△25.7%	有形固定資産減価償却費の減
3 純損益(税抜)		5億5,500万円 (純利益)	1億6,800万円 (純利益)	3億8,700万円	-	
4 資本的収入		15億3,500万円	3億8,600万円	11億4,900万円	297.7%	
主な収入	企業債	11億4,800万円	3億6,700万円	7億8,100万円	212.8%	乗合自動車購入費等にかかる企業債の増
5 資本的支出		23億3,100万円	10億3,900万円	12億9,200万円	124.4%	
主な支出	建設改良費	14億4,700万円	3億6,400万円	10億8,300万円	297.5%	乗合自動車購入費等の増
6 資金不足比率		- (資金不足となっていない)	- (資金不足となっていない)			財政健全化法における経営健全化基準 20%

※金額については、百万円未満を切り捨てにより端数処理